

みんなのアクセシビリティ評価ツール miChecker 導入手順書

2023年3月31日

本書の目的

本書は「みんなのアクセシビリティ評価ツール miChecker」の導入手順を説明するものです。

目次

1. みんなのアクセシビリティ評価ツール miChecker (エムアイチェッカー)	2
2. miChecker の導入	2
2.1 PC 環境の確認.....	2
2.2 miChecker のダウンロードと導入	2
2.3 miChecker の実行	4
3. Java 実行環境の確認・導入.....	4
3.1 Java 実行環境の確認.....	4
3.2 Java 実行環境の導入.....	5
(参考) 最新の miChecker の入手について	8

1. みんなのアクセシビリティ評価ツール miChecker（エムアイチェッカー）

「みんなのアクセシビリティ評価ツール miChecker」（以下、miChecker）は、JIS X 8341-3:2016（高齢者・障害者等配慮設計指針—情報通信における機器、ソフトウェア及びサービス—第3部：ウェブコンテンツ）に基づくウェブアクセシビリティ対応の取組を支援するために、総務省が開発し、提供するアクセシビリティ評価ツールです。本書は、miChecker の導入手順を紹介します。

2. miChecker の導入

2.1 PC 環境の確認

miChecker は、以下の環境で利用頂くことができます。

OS :	Windows 10, 11
ブラウザ :	Microsoft Edge
メモリ :	4GB 以上
ハードディスク空き容量 :	250MB 以上
Java 実行環境 :	Java 64bit 版 Version 17

2.2 miChecker のダウンロードと導入

miChecker は、総務省のウェブサイトで公開されている圧縮ファイルをダウンロードし、展開することで使用できます。以下では、Windows 11 の環境の場合を例に、ダウンロードと導入の手順を説明します。

A) 総務省が提供する miChecker のダウンロードページ

（ http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/b_free/michecker.html ） にアクセスし、miChecker ダウンロードのためのリンクを選択してください。（検索サイトを開き、「miChecker」のキーワードで検索することでも miChecker のダウンロードページに移動することが出来ます。）

miCheckerのダウンロード

総務省は、アクセシブルなウェブの普及を目的としてmiCheckerを無償公開しています。法令や公序良俗に違反しない様、留意の上でmiCheckerをご利用ください。なお、miCheckerに関する権利および免責事項などについては、miCheckerに付属の「3_利用条件.pdf」をご参照ください。

以下のリンクをクリックすると、ダウンロードが開始されます。

[miChecker v3 \(zip形式圧縮ファイル、約75MB\)](#)

(同時にダウンロードできる人数に制約があります。もしダウンロードがうまくいかない場合は、しばらく時間をおいてから再度ダウンロードしてみてください。)

図 1 miChecker ダウンロードページの例

- B) ダウンロードした zip ファイルを選択し、右クリック（もしくは Shift+F10）で表示したメニューから【すべて展開 (T) ...】を選択してください。
（注： ダウンロードしたファイルをダブルクリックするのではなく、必ずメニューを用いるようにしてください。）
- C) 「圧縮 (ZIP 形式) フォルダの展開」ダイアログが表示されたら、miChecker を保存するフォルダを指定して【展開 (E)】を選択してください。



図 2. 圧縮フォルダを展開

- D) 展開が終了したら、展開先に「miChecker_v3」というフォルダが作成されたことを確認してください。「miChecker_v3」フォルダ内には、miChecker の概要説明、利用条件などをまとめた「0_Readme.txt」、「1_miChecker 紹介.pdf」、「3_利用条件.pdf」、「4_更新履歴.txt」の 4 つの文書があります。また、「2_手順書」フォルダには「miChecker 利用ガイド」、「miChecker を用いた試験手順書」、「miChecker 達成基準別活用法」、「ワークシート」、「CMS 等連携手順書」の各文書が収められています。miChecker 本体は「miChecker.exe」という実行ファイルです。
（注： OS の設定によっては拡張子が表示されない場合があります）

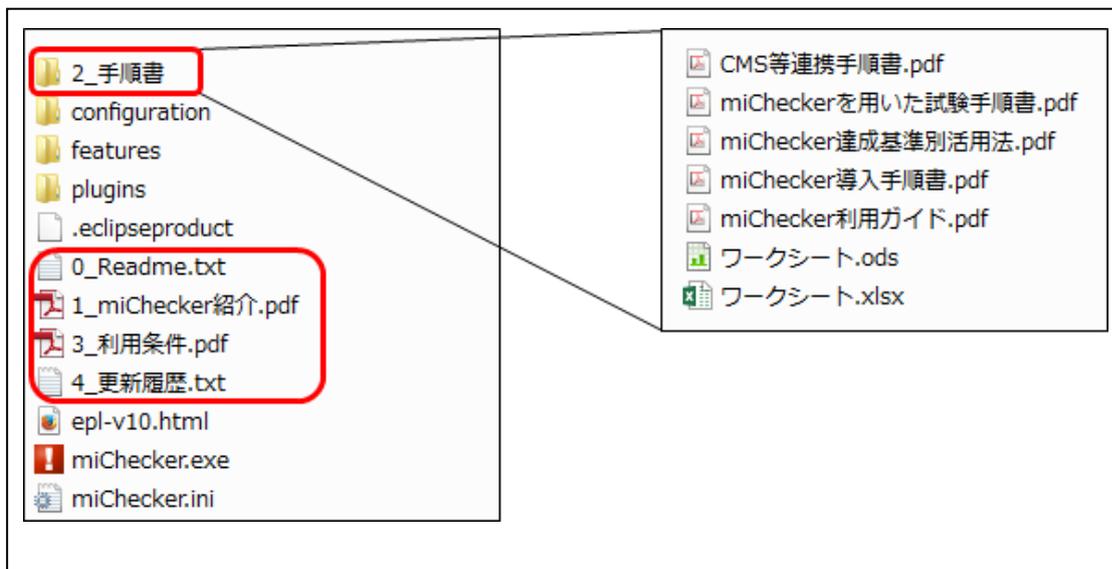


図 3. zip ファイル展開後に作成される miChecker_v3 フォルダの構成

2.3 miChecker の実行

以上で miChecker の導入は完了です。miChecker を実行する際は、miChecker が展開されたフォルダーの中にある miChecker を実行します。(注： OS の設定によっては、「miChecker.exe」と拡張子と共に表示されています。)



図 4. miChecker を起動

「miChecker 利用ガイド」などの付属文書を参照しながら miChecker をご活用ください。

注： miChecker を利用するためには Java 64bit 版 Version 17 の実行環境が必要となります。次節の手順を参考に Java 実行環境の確認・導入を行ってください。

3. Java 実行環境の確認・導入

miChecker を利用するためには Java 64bit 版 Version 17 の実行環境が必要です。対象の Java 実行環境が存在しない場合、Java 64bit 版 Version 17 の導入を行います。

3.1 Java 実行環境の確認

環境によっては既に Java 実行環境がインストールされている場合があります。まず、コマンドプロンプトを利用して Java のインストール状況を確認します。

(ア) コマンドプロンプトの起動

Windows のスタートメニュー／スタートボタンからコマンドプロンプトを起動します。

(Windows ログキーを押しながら R キーを押して「ファイル名を指定して実行」ダイアログを表示し、「名前」と記載された入力欄に「cmd」と入力した上で「OK」を選択することでもコマンドプロンプトを起動することができます。)

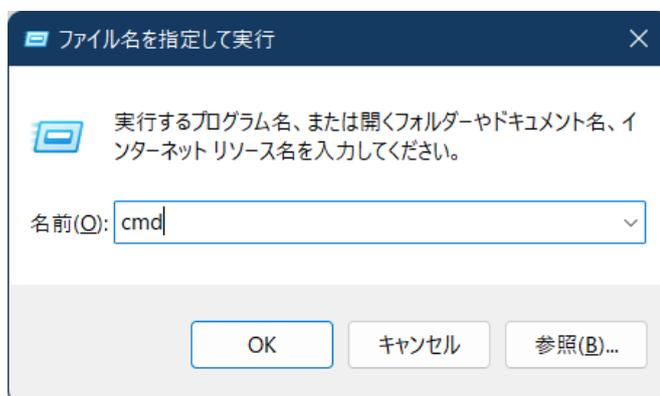


図 5. 「ファイル名を指定して実行」ダイアログからコマンドプロンプトを起動する

(イ) コマンドプロンプトを用いた確認

コマンドプロンプトに次のように入力し「ENTER キー」を押してください。

```
java -version
```

```
C:\>java -version
openjdk version "17.0.5" 2022-10-18
IBM Semeru Runtime Open Edition 17.0.5.0 (build 17.0.5+8)
Eclipse OpenJ9 VM 17.0.5.0 (build openj9-0.35.0, JRE 17 Windows 11 amd64-64-Bit
```

図 6 Java がインストールされているかを確認

Java がインストールされていない場合には次のようなメッセージが表示されます。

```
'java' は、内部コマンドまたは外部コマンド、操作可能なプログラムまたはバッチ ファイルとして
認識されていません。
```

Java がインストールされている場合には次のような表示が出ます(表示は Java のバージョンなどにより異なります)。

```
openjdk version "17.0.5" 2022-10-18
IBM Semeru Runtime Open Edition 17.0.5.0 (build 17.0.5+8)
Eclipse OpenJ9 VM 17.0.5.0 (build openj9-0.35.0, JRE 17 Windows 11 amd64-64-Bit
Compressed References 20221018_298 (JIT enabled, AOT enabled)
OpenJ9      - e04a7f6c1
OMR         - 85a21674f
JCL         - 32d2c409a33 based on jdk-17.0.5+8)
```

「version」欄が、「17」で始まっている場合、Java の Version が「17」であることを意味しています。また、64bit 版が導入されている場合には「64-Bit」「64Bit」などの記載があります。Java Version 17 の 64bit 版が導入されていることが確認できた場合には、「2.3 miChecker の実行」の手順に沿って miChecker を実行することが可能です。

3.2 Java 実行環境の導入

3.1 の手順で対象の Java 実行環境がインストールされていないことが確認された場合、Java 実行環境の導入を行ってください。ここでは、参考として各種 Java 環境の入手先の例と、Adoptium の提供する Java 実行環境を用いて、Windows に Java を導入せずに miChecker を利用する場合の手順の例を紹介します。Java 実行環境の利用に際しては、事前にそれぞれのライセンス条件や導入条件等をご確認上ご利用ください。

(ア) Java 実行環境の入手先の例

- Adoptium (Eclipse Temurin)
 - <https://adoptium.net/>
- IBM 社 (IBM Semeru)
 - <https://developer.ibm.com/languages/java/semeru-runtimes/downloads/>
- Microsoft 社
 - <https://learn.microsoft.com/ja-jp/java/openjdk/download>
- Oracle 社
 - <https://www.oracle.com/jp/java/technologies/downloads/>

(イ) Adoptium の提供する Java 実行環境の導入

① Java 実行環境のダウンロード

Adoptium のダウンロードページ (<https://adoptium.net/temurin/releases/>) にアクセスし、Operating System として「Windows」、Architecture として「x64」(64bit 版)、Package Type として「JRE」、Version として「17」を選択した上で、圧縮形式の JRE (Java 実行環境) のダウンロードのためのリンク「zip」を選択してください。

Eclipse Temurin™ Latest Releases

Eclipse Temurin is the open source Java SE build based upon OpenJDK. Temurin is available for a [wide range of platforms](#) and Java SE versions. The latest releases recommended for use in production are listed below, and are regularly [updated and supported](#) by the Adoptium community. Migration help, container images and package installation guides are available in the [documentation section](#).

Use the drop-down boxes below to filter the list of current releases.

Operating System	Architecture	Package Type	Version
Windows	x64	JRE	17

jdk-17.0.6+10 Temurin January 20, 2023	Windows	x64	JRE - 32 MB Checksum JRE - 43 MB Checksum
---	---------	-----	--

図 7 JRE の zip ファイルをダウンロード

② Java 実行環境の展開

次に、ダウンロードした zip ファイルを選択し、右クリック（もしくは Shift+F10）で表示したメニューから【すべて展開 (T) ...】を選択し「展開ウィザード」を開始します。

「圧縮 (ZIP 形式) フォルダの展開」ダイアログが表示されたら、Java 実行環境を一時保存するフォルダーを指定して【展開 (E)】を選択して zip ファイルを展開します。

展開されたフォルダー内に、Java 実行環境が入ったフォルダー（「jdk」で始まり「jre」で終わる名前のフォルダー。例：「jdk-17.0.6+10-jre」）が存在することを確認します。

③ Java 実行環境を miChecker から利用するための設定

②で確認した Java 実行環境の入ったフォルダー（「jdk」で始まり「jre」で終わる名前のフォルダー）を右クリック（もしくは Shift+F10）して表示したメニューから【名前の変更 (M)】を選択し、フォルダーの名前を「jre」に変更します。次に、「jre」フォルダーを「2.2 miChecker のダウンロードと導入」で導入した miChecker のフォルダー（「miChecker_v3」など）に移動します。

以前に導入した Java 実行環境を更新する場合には、miChecker のフォルダー内の古い「jre」フォルダーを削除した後、新しい「jre」フォルダーを移動してください。

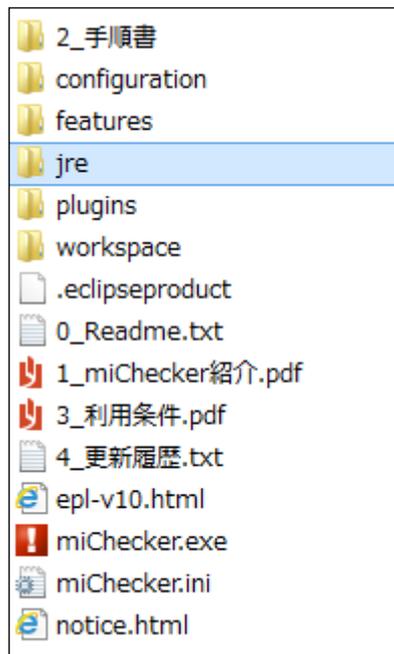


図 8 「miChecker_v3」フォルダーに「jre」フォルダーを移動

以上で Java 実行環境を miChecker から利用するための設定は終了です。2.3 miChecker の実行の手順を参考に miChecker をご利用ください。

(参考) 最新の miChecker の入手について

JIS X 8341-3:2016 関連文書の更新や miChecker の機能拡張などに伴って、miChecker が更新される場合があります。

総務省ホームページ(https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/b_free/michecker.html)にアクセスし、最新の miChecker を入手するようにしてください。